

令和2年11月20日

造血幹細胞移植支援システム 医療機関支援機能 公開に向けてのご案内  
(臍帯血移植に係る留意事項)

造血幹細胞移植支援システム「医療機関支援機能」が令和2年11月30日(月)から稼働します。医療機関支援機能の稼働に伴い、臍帯血申込等の方法に変更がございますので、以下の点についてご留意ください。

1. 医療機関支援機能稼働後の主な変更点

(1) 臍帯血の申込

稼働前：造血幹細胞適合検索サービス(Web ページ)で適合検索を実施し、臍帯血申込画面にて患者情報を入力して臍帯血申込を実施。

稼働後：医療機関支援機能にて患者登録を行い、同機能上で適合検索・臍帯血申込を実施。

※申込後の臍帯血バンクとの提供手続きにつきましては稼働前後で変更ございません。

(2) 臍帯血予約検索の登録・変更

開始前：臍帯血バンク医療機関向けサービスにログインし、予約検索の登録・変更を実施。

開始後：医療機関支援機能にて患者登録を行い、同機能上で予約検索登録・変更を実施。

※医療機関支援機能提供開始前に登録いただいた予約検索情報は削除され、医療機関支援機能にデータ移行されません。

2. 今後の予定

令和2年11月25日(水) 18:00

現行システムでの臍帯血予約検索の新規登録を停止します。

令和2年11月26日(木) 18:00

現行システムでの臍帯血予約検索結果メールの送信を停止します。

令和2年11月27日(金) 18:00 ~ 同月30日(月) 8:59

医療機関支援機能への移行に伴い臍帯血申込関連の全システムが停止します。

システム停止期間中は臍帯血申込が実施できません。また、現行システムで登録中の予約検索を削除します。

令和2年11月30日（月） 9：00 ～

医療機関支援機能の運用を開始します。

骨髄・末梢血幹細胞ドナー申込及び臍帯血申込（予約検索を含む）は医療機関支援機能から実施してください。

申込後の臍帯血バンクとの提供手続きにつきましては稼働前後で変更ございません。

### 3. システム切替え時のご注意（再掲）

新機能への切り替えのため、11月27日夕方より現行システムを一時停止します。そのため、その週末はシステムを用いる臍帯血申し込みなどができません。11月27日に移植を予定されている場合には、バック破損等の緊急事態に備え、臍帯血を選択しておいて頂くことをお勧めします。同日に臍帯血移植を予定されている場合には2nd bestの臍帯血をお選びいただき、バンク名と臍帯血IDをお控えいただきますようお願い致します。同様に、11月27日前後に生着確認をする予定の患者さんについては予め臍帯血を選んでおくことをお勧めします。

日本赤十字社 血液事業本部  
技術部 造血幹細胞管理課  
造血幹細胞業務課